市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（なんごうこども園）

期 日：平成27年11月28日（土） 8時20分～8時55分（発表会前）

場 所：なんごうこども園 遊戯室

参加者：保護者 約110人、園長

【意見内容と回答】

◎男性

この規模適正化・適正配置のメリットがよく分からない。学校が統合することによって、山武市の人口がもっと急激に減るという可能性は考えていないのか。

○教育総務課長

教育委員会のほうで今考えているのは、先ほど説明させていただいたとおり、子どもたちが学ぶ環境をどういう形にしたら望ましいのかという視点で考えている。ある程度の集団で学んでいったほうが教育的な効果は高いだろうという中からの話である。確かに今お話いただいたように、学校が地域からなくなることによって、その地域の魅力がなくなってしまうのではないかというご意見は、今までの説明会でも多くだされていた。ただ、市内の各学校の規模が小さい、単学級になる、もし複式学級がある学校がそのままの形で残っている、そういう地域を他の地域の人が見て、果たしてこの市の学校が魅力があるのかと言われたときに、例えば、規模を整えてある程度、教育効果が高いような状況にしていった後のほうが、魅力的に映ることもあるかもしれないし、その考え方はいろいろだと思う。地域のかたにとってみれば、学校を残したほうがという思いの方が強いかも知れない。ただ、教育委員会とすれば、子どもたちが学ぶ環境として考えていった場合には、ある程度の規模があったほうがいいということから、こういう形になっている。それが、将来の人口を増やす要因になるのか、減らす要因になるのかというところは、一概には何とも言えないので、回答できないところである。

◎男性

そこが大切なのではないか。（学校を）減らしてから、（人口が）増える可能性は考えているのか。

○教育総務課長

増える可能性ということでは、山武市全体での人口減少、これは国全体でもそうだが、地方創生という取り組みの中で、なんとか人口を維持していくためには、どういうことをしていったらいいかという計画を、今たてているところである。各部署で取り込めるものはその計画の中に入れて、山武市の魅力をあげていこうという取り組み、計画をまとめているところである。そういう中で教育委員会とすれば、例えば、グローバル教育に力を入れていこうとか、そういう各教育のカリキュラムの中の取り組みを、魅力的なものにして発信していくというような、取り組みを考えているところである。そういうものを他の地域の方にみていただいて、この市を選択してくれることがあれば、また、ここから転出していかなくてもここで暮らしていける、そういう街づくりができればということで、その取り組みをはじめたところである。

◎男性

この統合、この数にするということは、既に決まってしまったことなのか。

○教育総務課長

将来的にはこういう組み合わせにしていこうという方向性は決めさせていただいた。ただ、時期的なものとして、まずは複式になっているところは数を整える、それ以外のところについては、当面このま

まの状況で様子を見て、複式が見込まれない状態であれば、当面このままの形で学校を維持していこうと考えている。

◎男性

ぜひこのままにさせていただいて、子どもたちが増える取り組みを行っていただきたいと思っているので、よろしく願いしたい。